



早稲田文化館日本語教師養成講座420時間コース カリキュラム内容

学習項目	内容
日本語教育概論 32 単位時間	日本語教育とはどんなものでしょうか。その歴史から現場までを、さまざまな面から概観し、日本語教育に関する基礎知識を学びます。
教材作成の方法 16 単位時間	日本語教育の現場で使用する教材について理解し、教材の作成の基礎を学びます。 これを勉強すると、自分で教材を作れるようになります。
評価 16 単位時間	評価の目的と方法を学びます。特に、テストによる評価について、グループ活動やディスカッションを通して理解を深め、テストの設計と得点の分析ができるようになります。
言語学 38 単位時間	音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論を中心とした言語学各分野の知識を習得し、 実際に言語の分析に役立てることができるようになります。
音声学 26 単位時間	日本語の正しい発音とその発声法を理解し、学習者の発音に誤りがあると感じたときに、 適切に矯正できるようになります。
教授法 42 単位時間	伝統的な教授法から新しい教授法を考察する中で、実際に学習者に教える際、どの教授法を用いれば学習効果を上げることができるか、また、どのように教授法を組み合わせ、指導すればよい授業ができるか考えることができるようになります。

学習項目	内容
日本語教育と文法	外国語としての日本語を教える場合に知っていなければならない文法の基礎知識を理解し、外国人が間違いやすいポイントなどを、わかりやすく説明するスキルを習得します。 38 単位時間
社会・心理	言語習得における基礎知識と言語教育に必要な心理学の基礎知識、及び異文化理解、異文化接触、異文化コミュニケーションに関する基礎的知識を学び、日本語教育の実践に応用する能力を身に付けます。 36 単位時間
初級実習 1	学習者を理解し、日本語教材の効果的な使い方を考えることができるようになります。 授業見学を通して教師の姿勢を学び、自分の課題を再確認します。 20 単位時間
初級実習 2	初級レベルの基礎知識を習得し、教案が作成出来るようになります。また、学習者の視点に立った教え方が出来るようになります。 52 単位時間
中級実習	初級レベルとの違いを理解して、中級レベルの教材を使って授業の組み立て方を学びます。 模擬授業を重ね、教壇実習ではビデオ撮影を行います。(教壇実習 45 分) 58 単位時間
初級実習 3	授業中、教師としての役割を十分に果たすことができます。また、他者の授業から課題を見つけ、自らを高める糧にすることができます。(教壇実習 90 分) 48 単位時間

